

CLOSE UP

小学生陸上クラブ 荒尾JAC ※

東七海さん



ひがし・ななみ 2002年生まれ、下赤田在住。八幡小学校6年。休みの日は、洋画のDVDを見たり、友だちと買い物をしたりしているそうです。

ことし2月に行われた荒尾市民マラソン大会で前人未踏の8連覇を成し遂げた小学生がいます。中・長距離ランナーの東七海さんです。

4歳のとき、初めて出場した市民マラソンでいきなり優勝した東さん。当時はたくさんの声援を受け、走ることが楽しくて仕方ありませんでした。しかし、小学生になる頃には、走ることに喜びを感じながらも優勝へのプレッシャーが大きくなっていたといいます。大会の1カ月前から眠れない日々が続くことも。それでも東さんが走り続けるのは、応援してくれる人の期待に応えたいという思い。そして、何より走ることが大好きだからです。

自主練習に励み、普段から足に負担の少ない歩き方をするなど、東さんの頭の中は走ることとでいっぱい。9年間続けている水泳も走るための持久力にいい影響をもたらしています。「最後まで諦めずに走ることが大切」中・長距離を走る醍醐味は短距離よりも抜き返すチャンスが多いことだそうです。そんな東さんの速さの秘け

つはマイナスをプラスに変えられること。昨年の県大会では、無理して先頭についていくとペースを乱し、途中で気持ちが切れてしまいました。しかし、これ以来、抜かれてもラストスパートに向け、自分のペースを保てるようになりました。

「走れることに感謝して走っています」東さんは、ことし、足を故障して走れない日々が続きました。故障したことで、家族や友人、コーチなどいつも支えてくれる人たちの存在が改めて身に染みしました。また、大会への出場も見合わせたことで、走りたくても走れなかった人の気持ちが分かり、代表として走れることのありがたさも改めて感じました。「選ばれた以上、恥ずかしくない走りをしたいし、自分が選ばれなくても精いっぱい応援したい」と、凛とした表情を見せます。「夢はオリンピック選手になること。もちろん、陸上の原点、市民マラソンにも出場を続けて優勝記録を更新したいです」と、にっこり。応援してくれるみんなの思いを胸に、東さんは夢に向かって走り続けます。

※ジュニア アスリート クラブ



1. 大会にはいつも両親や祖父母などが応援に駆けつけてくれます。2. 全国クロスカントリーリレーでは大切な仲間とタスキをつなぎました。左から桂川美佑さん、塩山桃花さん、東さん、荒川夏凜さん。3. バドミントンで活躍する友人からもらったシャトルは東さんのお守りです。4. いつも弟の颯馬君と自主練習をしています。